

ステララ®を使用されるお子さんと保護者の方へ

ステララ®による クローン病治療について

- ステララ®は、体の中で炎症を起こす物質のはたらきをおさえることで、腸の炎症をおさえ、お腹^{なか}の痛みやげりなどの症状を改善するお薬です。
- このお薬は、病院で医師や看護師が投与します。



ステラーラ®の投与スケジュール

〈クローン病〉

体重40kg以上の小児

どうにゅうりょうほう
導入療法



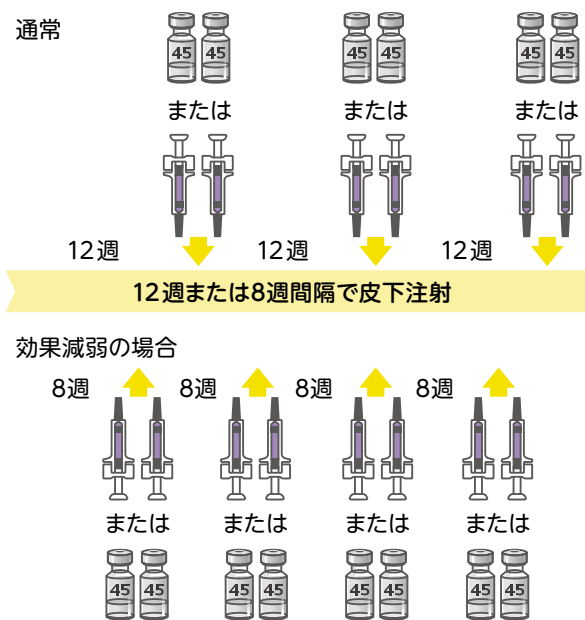
8週

初回のみ
点滴注射



いじりょうほう
維持療法

通常



12週

12週

12週

12週または8週間隔で皮下注射

効果減弱の場合

8週

8週

8週

8週

2歳以上で体重40kg未満の小児

どうにゅうりょうほう
導入療法

初回のみ
点滴注射



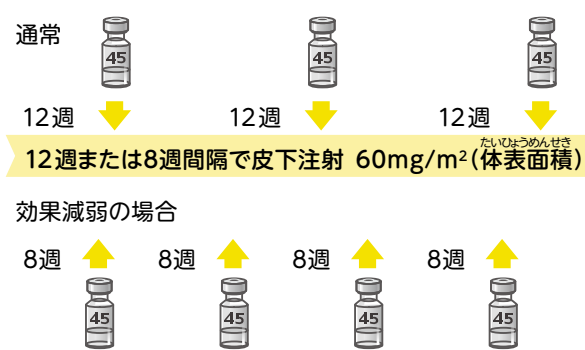
8週

250mg/m²
(体表面積)



いじりょうほう
維持療法

通常



12週

12週

12週

12週または8週間隔で皮下注射 60mg/m² (体表面積)

効果減弱の場合

8週

8週

8週

8週

ステラーラ[®]による治療中の注意点

このお薬で治療しているあいだは、体の中で免疫^{めん えき}（病原菌^{びょうげん きん}やウイルスとたたかう力）のはたらきが弱まります。そのため、かぜやインフルエンザなどにかかると、いつもより症状が重くなることがあります。次の点に注意して、体調の変化があれば早めに医師に相談してください。

かん せん しょう
**感染症対策を
しましょう!**

- かぜやインフルエンザなどの感染症^{かん せん しょう}を予防するために、外出先から戻ったら、うがい・手洗いをしましょう。
- 感染症^{かん せん しょう}がはやっているときや人ごみの中ではマスクをつけましょう。
- 医師に相談して、流行する前にインフルエンザワクチン^{せつ しゅ}を接種^{せつ しゅ}しましょう。



なま
**生ワクチンの
接種^{せつ しゅ}は
さけましょう!**

- 免疫^{めん えき}のはたらきが弱くなっているため、BCG、麻しん^ま（はしか）、風しん^{ふう}、おたふくかぜ、みずぼうそうなどの生ワクチン^{なま}の接種^{せつ しゅ}はさけてください。



**その他の
注意点**

- ステラーラ[®]を注射した日は、注射したところへの刺激をさけてください。
- ステラーラ[®]を投与する間隔をきちんと守りましょう。



ステララ[®]の副作用

少しでもおかしいなと感じたら
おうちの方(保護者)に伝えましょう

このお薬の投与により、下記のような副作用があらわれる可能性があります。ふだんから体調管理に気をつけて、気になる症状や体調の違和感などに気づいたら、必ず医師に相談してください。

主な副作用



かぜ症状

ノドが痛い、せきがでる、ゾクゾク(寒気)する、頭痛がする、熱がでる、など。



アレルギー症状

ほっ発しん(じんましんなど)、かゆみ、など。



全身の症状

つかれやすい、体がだるい、など。

その他の注意すべき副作用

- **アナフィラキシー**: アナフィラキシーは、お薬の投与後30分以内に起こることが多いです。かゆみ、じんましんなどのアレルギー症状と似た症状のほか、声のかすれ、くしゃみ、ノドのかゆみ、息苦しい、心臓の動きがいつもより早く感じる、意識がうすれてくる、などの症状があります。
- **結核の再燃、肺炎などの重い感染症**: 過去に治療した結核がふたたび悪化したり(せきがつづく、熱がでる、など)、肺炎などの重い感染症を発症することがあります。
- **ウイルス性肝炎**: 過去にB型肝炎にかかったことのある方で、ふたたび肝炎の症状があらわれることがあります。投与前に検査をすることにより、過去の感染状況や現在の状況を確認して、治療に役立てていきます。
- **間質性肺炎**: 発熱やせき、息苦しい、体がだるい、などの症状があります。
- **悪性腫瘍(がん)**: ステララ[®]が原因であるかは明らかではありませんが、投与した方において皮膚および皮膚以外での悪性腫瘍発症の報告があります。

副作用の対処方法

副作用

副作用は早く見つけて、早く対応することがとても大切です。

ふだんから定期的に検査を受けてください。また、少しでも体の調子がおかしいと感じたら、必ずすぐに医師に相談しましょう。

● 発熱、せき、息苦しさが出たらすぐに医師に相談しましょう

重い感染症にかかっていないかどうかを判断する必要があります。このような症状が起こったときはすぐに医師に相談してください。治療が必要な感染症の場合、ステララ®の投与をいったん中止して、まずは感染症の治療を行います。

● アナフィラキシーの症状が出たときは、まよわず救急車を呼び、すぐに受診しましょう

アナフィラキシーは、お薬の投与後30分以内に起こることが多いです。「息苦しさ」や「ショック症状」などが出たときは、まよわず救急車を呼び、すぐに病院を受診しましょう。



よくある質問①

Q

ステラーラ®による治療は
いつまで続けるのでしょうか？

A

このお薬はクローン病を完治させるお薬ではありません。
症状がない寛解状態かんかいを維持し、病状の悪化を見逃さない
ために定期的に治療経過を見ていく必要があります。
治療に関し気になることは、必ず医師に相談してください。

Q

投与予定日に体調が悪くなりました。

A

体調不良の内容が、副作用ふくさようであると考えられる場合には、
ステラーラ®によるクローン病治療を中止、またはその日
の投与を延期することを考慮する必要があります。どの
ように体調が悪いのか、それはいつ頃からなのか、などを
医師にお伝えください。

よくある質問②

Q

ステララ®を投与した当日の入浴は
さけたほうがよいでしょうか。

A

このお薬を注射した当日の入浴は可能です。ただし、入浴の際は、注射部位をナイロンタオル等でゴシゴシ触ったりするなど、皮膚への過剰な刺激はさけてください。

Q

海外旅行に行きたいのですが。

A

症状のない状態(寛解期^{かんかいき})であれば、行ける可能性が高まります。現在の体調、旅行のスケジュールを含めて医師と相談をしてください。ただ衛生管理^{えいせいかんり}にはくれぐれも注意しましょう。生水は飲まない、マラリア^{かんせん}など感染がはやっている地域はさけるなど、感染症^{かんせんしやう}の予防が必要です。また、ゆとりのあるスケジュールを組んでつかれをためすぎないようにしてください。

病院名

2026年8月作成

STL-0456

STL.Pt270.1